

いたやなぎ 町議会だより

令和3年
9月定例会

第31号
2021. 11. 12



主な内容

- 5人が一般質問 P 2 ~ 6
- 常任委員会審査 P 7
- 決算特別委員会 P 8 ~ 9
- 一目で分かる審議結果 他 P 10
- 小学校統合問題検討特別委員会 P 11
- 視察研修他 裏表紙

板柳町から県立木造高等学校に通う写真左から、杉澤悠さん（1年）、小山内日向さん（2年）、福田美心さん（1年）。

今回はキャプテンの小山内日向さんに夢を語っていただきました。チームの目標は現在選手が4人しかいないので部員を集めることからはじめ、試合では楽しみながら優勝を目指したいと力強く語ってくれました。

板柳町の夢追人！

～コロナに打ち勝ち、県大会優勝目指して～

板柳町出身の木造高等学校ソフトボール部員

町民の声を町政に

第7回定例会一般質問

第7回板柳町議会定例会が9月2日から10日までの日程で開催されました。9月6日に行われた「一般質問」に、5名の議員が登壇し質問しました。一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。

板柳町議会では、1人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、1人1ページ相当の文章量までとし、質問と答弁が要約してあります。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

統合小学校の整備について



工藤 貢

問 第三者機関の小学校統合整備審議会の初会合において永澤教育長が審議会の田中会長に諮問したと報道されているが、諮問の内容について伺う。

答 (永澤教育長) 全国的に少子化傾向が進んでおり、板柳町の児童数も減少傾向にある。今後、小学校の小規模化が進み、複式学級の学校や部活動の問題など、様々な教育活動を展開する上でいろいろな影響が出てくる。また、学校施設の老朽化も進んでいる。子どもたちが安心して学校生活を送るために環境整備が急務となっている。こうした状況で、将来を担う子どもたちがよりよい教育環境の中でたくましく生きる力を育み、人間形成

に必要な教育を受けることができるよう、将来を見据えた統合小学校の在り方について諮問した。諮問した内容は、1つ目「統合小学校の教育方針について」、2つ目「統合小学校の施設設備について」、3つ目「統合小学校の教育環境の整備について」、4つ目「そのほかの小学校統合に関して必要な事項について」の4項目を諮問した。

問 同審議会において、今後の予定について伺う。

答 (永澤教育長) 第1回目の8月18日に行った審議会で、委員の方々から町の人口減少及び児童数の減少について、既設校舎の現状について、小学校統合を行った近隣町村の情報等について様々な意見があった。

それらについて教育委員会で資料をまとめ次第、第2回目の審議会を開催して委員の皆様にお示しい。統合時期はいつ頃になるのか伺う。

答 (永澤教育長) 今後は、小学校統合整備審議会での推移を見守り

ながら、統合時期がいつが適切かといったことを慎重に検討していかなければならない。

問 子どもたちのために一日も早く統合小学校を建設してほしいと思うが、町長の考えを伺う。

答 (成田町長) 将来を担う子どもたちのため教育環境の整備は大変重要な課題であると考えている。

教育長の諮問機関として第三者的な審議会が組織され、本格的に調査審議がスタートすることになり、町では今定例会に学校施設整備基金として1億円の積立金をお願いしている。子どもたちのために安全、快適、そして誇れる統合小学校の建設のため、今後ともしっかりと対応してまいりたい。

新型コロナウイルスワクチン接種について

問 当町のワクチン接種の状況と希望者全員のワクチン接種はいつ頃終了するのか。

答 (成田町長) 接種状況と終了時期は、8月25日時点で2回目のワクチン接種を終えられた65歳以上の高齢者は9割以上となっている。12歳以上の町全体では約5割の方が2回目の接種を終了し、妊婦の方には優先的に接種を実施している。希望者全員のワクチン接種の終了時期については、国からのワクチンの供給状況もあるが、10月末までの接種完了を目指している。

問 当町の12歳以上のワクチン接種の状況はどうなっているのか。

答 (成田町長) 8月18日に児童生徒の方に接種券を送付し、予約を受付している。早い方では9月上旬より接種が始まっており、12歳から18歳の児童生徒においては現在約半数の方から予約をいただいている。また、13歳以上の生徒の方で希望者には、板柳町多目的ホールあぶるにおいて9月10日から10月15日まで毎週金曜日の午後5時から夜間接種で対応することになっている。



新型コロナウイルス感染症について

問 学校の臨時休校などは
当町としてはどのような
判断基準で行うのか。

答 (永澤教育長)
文部科学省から学校で
児童生徒等や教職員の新型
コロナウイルスの感染が確
認された場合の対応ガイド
ラインが出された。

教育委員会の今後管内小
中学校での感染者が確認さ
れたときの対応としては配
付されたガイドラインを参
考にしながらか対応してい
く。

問 小中学生にはタブレッ
トが支給されている。
当初はGIGAスクール構
想の一環として、担当課が
運用計画、導入時期などを
十分検討した上で行う予定
だったが、具体的な運用計

画などが決定していないま
ま、高額な予算だけが議会
開会直前に計上された。そ
のため、令政会及び無所属
では合同質疑、意見交換の
場を設け、教育長、学務課
長を交えて具体的な運用計
画などについて議論した。

そこで課題点や改善点を確
認することができ、学務課
の素早い対応や改善もあり、
現在の導入に至ったものと
認識している。このタブレッ
トの利用については、オン
ライン授業も課題となってい
たが、現在どのようなよう
に考えているのか。

答 (永澤教育長)
タブレットを利用した
教育活動については、各学
校でもそれぞれ工夫しなが
ら手探りの状態で進めてい
る現状である。

先生方は大変頑張ってい
るが、現実的にはなかなか
難しい状況である。速やか
にオンライン授業が展開で
きればいいが、今はまだ難
しい。

問 教育関係については、
教育長及び教育委員に
よる専門的知見、経験を生
かした議論、協議の結果を
尊重すべきである。教育長

は、確たる信念の基に、時
には最終判断を下す町長へ
も提言、進言する覚悟を持
て職務に就いているのか伺
う。

答 (永澤教育長)
町政の最終判断は町長
だが、教育分野全般の責任
者として教育長がいるので、
信念を持って、これからも
板柳町の子どもたちのため
に学校教育や社会教育充実
のためにやれることは一生懸
命頑張っていきたい。

問 6月議会では、町の感
染状況について県から
の報告が無ければ町の状況
は把握できないと言ってい
たが、現在も同じ考えなのか。

答 (成田町長)
新型コロナウイルス感
染症に関する調査は保健所
で実施している。現在
も基本的に同じ状況である。

問 副町長が県からの報告
がなないので町の状況が
把握できないと言ったこと
は、行政の対応として非常
に驚きを感じた。町の状況
を把握することができない
とはどういうことなのか。

答 (村上副町長)
板柳町は弘前保健所管
内の広域市町村内の市町村

であるので、具体的な情報
は把握していない。

問 長引くコロナ禍の影響
は、当町の事業者にとつ
ても深刻なものとなってい
る。数々のイベント等も中
止、自粛といった先の見え
ない中でワクチン接種が唯
一の希望となっている状況
である。接種完了後、当町
としてはどのような展望の
下に町政運営を行うのか伺
う。

答 (成田町長)
町民の皆様にも一日も早
く接種が終了できるように
取組み、新型コロナウイルス
の収束状況を見ながら、
町や商店街に活気が戻るよ
う各種行事・イベントを開
催してまいりたい。

問 接種完了してもコロナ
禍の影響により落ち込
んだ町の活性を巻き返す対
策・対応が要求される。さ
らに早期建設を望んでいる
パーベキュー施設、アクセ
ス道路、1億円の交付となっ
たりんごワーク研究所財政
支援、板柳高校跡地利用、
最も大きなものとして小学
校統廃合問題、概算工事費
で40億を超える新築計画な
ど多額の予算が必要になり、

計画性が問われる。
今後コロナ禍で沈んだ町
を盛り上げる必要がある中
で、結論の先送り事業や多
額の予算が必要な事業を多
く抱えているが、今後の展望
を伺う。

答 (成田町長)
いろんな課題があるが、
今ここでそのそれぞれに対
して答えてもしょうがない。
例えばパーベキュー施設に
ついては、これまで再三に
わたり、皆さんに説明して
いる。アクセス道路につい
ても、センターの入込客数
を増やすために国道339
号線からの必要な誘導策の
一つだと考えている。統合
小学校についても、将来を
担う子供たちのためには早
期に統合していかなければ
ならない重要な課題だと認
識している。

そのほかにも板柳高校、
役場庁舎、それから屯所、
いろんな課題がある。これ
らについては、町の財政を
見ながら一つ一つ対応して
いくことが大事であると考
えている。



長内 良蔵

新型コロナウイルス感染対策について

問 新型コロナウイルス感染対策に
対しての当町の今までの
対応についてどう考える
か。

答 (成田町長)

昨年2月に新型コロナウイルス
ウィルス感染症対策本部を
立ち上げ、町民の皆様へ注
意喚起や相談窓口の設置、
様々な感染予防対策に取り
組んできました。町独自の支
策としては、全町民を対象
にしたマスクの配付やイン
フルエンザ予防接種費の無
料化をはじめ小中学校給食
費の無償化、児童生徒のタ
ブレット端末の導入などを
行っている。

町民の生活支援対策で
は、全町民に生活支援商品
券の配付、独り親世帯への
特別給付金や65歳以上の独

り暮らし高齢者に生活支援
金を給付している。事業者
の経済支援対策では飲食店
をはじめ全事業者へ最大20
万円の支援金のほか、プレ
ミアム率30%の商品券の発
行、さらには米農家の緊急
支援など、地域経済の活性
化に取り組んできた。今後
も、新型コロナウイルスの感染状況
を注視しながら、スピード
感を持って必要な感染対策
を講じていく。

問 随分と町で頑張ってい
るが、財源は大丈夫な
のか。

答 (成田町長)

財源については、国か
らの交付金や県からの補助
金でほとんど対応している。
町からの持ち出しは、大き
い額ではない。

問 町民の希望者全員にワ
クチン接種が完了する
のはいつ頃になるのか。

答 (成田町長)

国からのワクチンの供
給状況によるが、10月末で
の終了を目指している。

問 県外に行く場合、接種
を証明する方法はある
か。

答 (菅田健康推進課長)
新型コロナウイルススワ

クチン接種証明書は、新型
コロナウイルスワクチンを
接種した方で海外渡航の予
定がある方が対象となっ
ている。

それ以外の方については、
ワクチン接種会場で渡され
る接種済証を利用すること
になる。

問 コロナ感染拡大により
いろいろなイベント等
が中止となっているが、今
後の見通しについて伺う。

答 (成田町長)

今後は、ウィズコロナ、
アフターコロナを見据えて、
以前のように各種スポーツ
大会や様々なイベントが開
催できるように環境づくり
に努め、スポーツやイベン
トを通して町民に元氣と活
気を与えてまいりたい。

ふるさとセンターの バーベキュー場について

問 ふるさとセンターの
バーベキュー場の早期
完成について伺う。私は、周
辺に集客施設があるモニユ
メント広場が相乗効果の期
待が持てるのでいいのでは
ないかと考えているが。

答 (成田町長)

施設の場所について議
会の理解が得られず、進ん
でない状況である。7月
14日の議員全員協議会にお
いてモニユメント広場の一
画を利用し整備する計画を
説明させていただいた。同
広場は、車の心配がない安
全なスペースが確保できる
場所であること、周辺に集
客施設があることなどの利
点があり、いろいろな方の
ニーズに応えることができ
る場所であると考えている。
将来的に考えてどの場所が
最もいいのか、将来に禍根
を残さないように慎重に考
えなければならぬ課題だ
と認識している。今後にお
いても町民の皆様が一日も
早く新しい施設が利用でき
るように進めていきたい。

問 できれば80人ぐら
いの会合もできるぐら
いにしたいのだが。

答 (成田町長)

当初60人規模で提示し
たが、ちよつと工夫をする
ことによって、前に皆さん
に示したほぼ同じ規模の80
人程度が利用できる方向で
考えている。

議会を傍聴しませんか

次の定例会は12月です

<議会日程のお知らせ(予定)>

月日		内 容
12月3日(金)	本会議	特別委員会報告等、提案理由の説明
12月7日(火)	本会議	一般質問
12月8日(水)	常任委員会	総務産業厚生・福祉建設文教
12月9日(木)	本会議	委員長報告等、質疑、討論、採決

※開催予定時間はいずれも午前10時です。

傍聴者名簿に住所、氏名、
年齢を記入していただければ、
どなたでも本会議を傍聴する
ことができます。ただし傍聴する
際は、マスクの着用をお願いします。
また、発熱等の症状がみられる
方はお断りする場合があります。





成田 陽光

災害に強いまちづくりについて

問 新消防庁舎も稼働したが、改めて町長の災害に強いまちづくりについて伺う。

答 (成田町長) 今年3月に待望の新消防庁舎が完成し、年度内には高規格救急自動車の更新が予定されているほか、6月定例会には消防団活動の支援としてデジタル簡易無線機の購入費を予算計上している。今定例会には林野火災用放水器の予算を計上しており、今後も消防力の強化に努め、災害に強いまちづくりに取り組んでいく。

問 防災意識を高めるような運動を今後続け、板柳のまちづくりとして、防災意識が強い町というPRの絶好の機会ではないか。

答 (成田町長) まちづくりというのは大変準備範囲が広く、安全はまちづくりの1つのテーマと考える。

問 防災訓練の実施状況や現在の備蓄管理状況など、具体的な施策と課題を伺う。

答 (成田町長) 今年度防災訓練の実施を検討したが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送っている。今後、状況を見ながら検討していく。また、備蓄品については毛布や簡易ベッド、簡易トイレ、パーティションなど、避難所の開設に必要な物品の購入を進めている。まだ十分でないのが、今後も必要な備蓄品の確保に努めていく。

問 備蓄物の入替えや発電機のカンクリンが固まっているかなど確認しているのか。

答 (大井総務課長) 質問にあつた発電機、備蓄用に10台ほどあり、年に1、2回点検をして災害に備えている。

公共施設建替について

問 平成29年「公共施設等総合管理計画」を策定したが、これから人口減少が目の前を来しているにも関わらず、個々の建物の建替などの方針を見直す考えはないか。

答 (成田町長) 人口減少や社会状況の変化に伴う公共施設の見直しは当然のことであり、今後も状況に応じて適宜対応してまいりたい。

問 やはり人口減になるというところを踏まえたときに、例えば1個の施設にまとめる、分割してあったものを1個の施設に入れるような考えはあるか。

答 (成田町長) 人口が減少して利用者が減ると、一個一個建てる必要はないと思う。複合施設を造って、その中で町民が集まって、そこでいろいろな用事ができることは私は十分考えられることだと思っている。参考にさせていただく。

ふるさとセンターについて

問 観光施設として、ふるさとセンターの役割と課題について伺う。コロナ後の新しい様式の中で観光施設として改めて活用について伺う。

答 (成田町長) 課題としては、観光入り込み客数の減少や施設の老朽化である。また、コロナ後の新しい生活様式の中で観光施設としての活用については、ふるさとセンターにおいてはスマートフォンを使った非接触型の電子決済を導入するなど、対応を進めている。今後は、既存の施設を生かして観光で訪れた方の滞在時間を増やすような取組、ソフト事業の充実を図っていききたい。ふるさとセンターを核に地域の農業団体、商工会等との連携を図り滞在体験型観光農業に取り組み、ふるさとセンターの魅力をさらに高めてまいりたい。

問 現在アクセス道路の計画自体は動いてはいるのか。

答 (成田町長) 将来、必要な施設だと考えている。バーベキュー場について60人規模で計画していたが、先ほど、同じぐらいの大きさで80人になるという話であった。今このコロナの時代に密にならないか。

答 (成田町長) 多少は幅が広がるが、以前皆さんに示したよりもうんと大きくなるわけではない。工夫することによって80人程度の対応はできるように今検討している。

問 コロナ禍、コロナ後の見通しが立たない状況で、観光施設として予算を投資していいのかは議論をもう少ししていく必要があると思うか。

答 (成田町長) 観光客、入り込み客数は毎年減少している。何もしないで黙ってれば、ますます加速する。確かにコロナ禍という状況もあるが、そういった中で今できること、これはやっていく必要があると思う。



松森 俊逸

町公共施設の管理計画について

町公共施設の管理計画の見直しが行われているものと考えますが、どのような見直しがなされているのか。

（成田町長）

関連する計画等を整理し、見直しの準備を進めている。

総務省では専門家の招聘や業務委託等公共施設等管理計画の見直しに要する経費は令和3年度に限り特別交付税措置を講ずると規定されている。さらに、

長寿命化工事まで着手したものは、令和4年度以降も同様に地方財政措置を講ずるとなっているが、理解しているか。

（大井総務課長）
地方財政措置があると

いうことは認識している。3年度中に計画に着手すれば対象になるということであるので、着手しては。

（成田町長）

制度を活用し、今年度中に策定したいと考えている。

児童生徒のコロナワクチン接種について

12歳以上の児童生徒に対するコロナワクチン接種の進捗率はどの程度になっているのか。

（成田町長）

12歳から18歳の児童生徒は約半数の方から予約をいただいている。

夜間接種すると思うが、受付を18時、19時まで行うべきだと思いが。

（成田町長）

担当課で板柳中央病院の院長と話を進めて、決まったものである。

コロナワクチン接種に協力している町内民間医療機関への対応について

コロナワクチン接種に協力している町内民間

医療機関へ具体的謝意を伝えるべきだと考えるが。

（成田町長）

医療機関従事者には本来に感謝している。

民間病院に対してインセンティブを付与する考えは。

（成田町長）

これまで医療機関に対しては2回ほど、マスクの配付や消毒液をお配りさせていただいた。

健康に暮らす高齢者への生活援助について

健康に暮らす高齢者への生活援助は。

（成田町長）

独り暮らしの方に入浴券または灯油券を配付するなど生活援助を行っている。

元気に暮らしている方が、年間平均すれば12万3,800円の保険を払っている。1年間、医療保険を使わない場合は1万円の地域商品券の付与や介護保険を使わない後期高齢者に対しては1万円の交通費としてタクシー券を付与している自治体もあるが、考えているか。

健康であればそれこそそれが最高のことだと思う。

（成田町長）

町立小学校統合整備審議会について

設置は新聞報道で知った。議会には具体的に報告されていないが、理由があるのか。

（永澤教育長）

特に理由はない。しかるべき時期、チャンスがあれば報告したい。

議会に報告するなど誰かに言われているのか。

（永澤教育長）

時期は教育委員会の中で相談して決めた。

3月議会において審議会のメンバーに中学校長を入れるのは時期尚早であるという意見があったが。

教育の専門的な見地からの意見も伺うため、外せないと考えている。

教育長は平成26年に答申された適正配置等に関する報告書をおおむね踏襲するという趣旨の答弁を議会でも繰り返してきた。

改めて同等の諮問機関を設置する意味はないのでは。

（永澤教育長）

統合の話を整理、確認していくために審議会が必要だと思っている。

審議会に対して、中学校に隣接して木造の統合校舎を4億かけて建設しようとする内容は説明しているのか。

（永澤教育長）

審議会では、このことについては触れていない。

町給付型奨学金の創設について

町給付型奨学金を創設する考えはないか。

（永澤教育長）

当面は現在実施している貸与型の奨学金で対応したい。

地元の担い手確保というところで、地元就職奨学金の返済の補助を行っている自治体もあるが。

給付型奨学金は実施している町村等の自治体が少ないように私は把握している。

（永澤教育長）

給付型奨学金は実施している町村等の自治体が少ないように私は把握している。

任 員 会 査 常 委 員 会 審 査

総務産業厚生 常任委員会

■消防団関連

Q 74万2,000円で消防団員安全装備品の防火服は何着分か。

A ヘルメット、防火服、現場用長靴、9セット分である。

Q 林野火災用放水器というのは、一般放水器とどう違うのか。

A この放水器はリュック型になっており、水を18リットル入れて放水する。

■定住・移住

Q 子育て世帯や新婚世帯へ事業を展開してきたが、何人ぐらい人口増えたのか。

A 28年度から令和2年度までの実績は、全部で105名の方が申請している。町外から約100人近くの方が

が入っている。

■遊休農地

Q 放置状態の農地に関して、町で何か持ち主にアクションを起こしているのか。

A 毎年農業委員会で農地パトロールを行っている。さらに確認した農地の所有者に対しては適正に使用するように通知を出している。

■板柳中央病院

Q 整形外科部門が伸びてきているが診療の日を延ばしたとか何かあるのか。

A 整形の外来は毎週火曜日と金曜日ということが変わっていないが、金曜日は先生が二人で回転もよく、内科に次いで外来患者数が多くなっている。

◆要望意見

ふるさとセンター青柳館の浴場について、利用者へ配慮した運用への改善を求めること、及び、多くの利用者の要望に即した改修を行うこと。

以上2件について要望いたします。

福祉建設文教 常任委員会

■中学校自転車置き場

Q 3,900万円は高すぎるのではないか。

A 設計費としては正しいものと理解していただきたい。

■コロナウイルスワクチン接種

Q 中学生、高校生は非常に使いづらい時間帯である。そして保護者の負担も大きい時間帯となっているが。

A 接種しやすいように、引き続き何かいい方法はないか、検討したい。

■最終処分場

Q 最終処分場の重機、レンタル料が1年間で250万円、費用対効果というのはどういうものなのか。

A 補助事業がないかも調べたが、そういうのはなかった。なので新規購入ということも考えた。最終処分場の作業年数があと7年くらいということもあり、今回はレンタルにした。

■小学校統合

Q 統廃合について、教育委員会はじめ役場庁内では考えることができないと踏んでこの諮問委員会をつくったのか。

A 話を聞けば聞くほどいろんな考え方出てくるので、これは幅広く意見を聞き直して話が整理できればいいなという願いからつくった。

■成人式

Q 成人式が何度か延期になり、参加したくないという声が上がっているそうだが。

A 気持ちが続けられないというのは最もだと思う。ただ、我々としては安全に開催できる日にちを目指して、開催延期という選択をした。



◆陳情

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情

継続審査

その他の陳情等

◆陳情

辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

資料配付

人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること

資料配付

◆要望

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支援要望について

資料配付

◆意見書

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

採 択

決算特別委員会 総括質疑

令和2年度の各会計決算を審議するため、議員全員で構成する決算特別委員会（委員長・三戸玲子議員／副委員長・濱名康治議員）を設置し、9月8日・9日の2日間にわたり詳細に審議しました。数多くの質疑がありましたが、その一部を紹介します。
※令和2年度各会計決算の詳細については、広報いたやなぎ10月号に掲載されています。



読みとりはコチラ ➡

◎ふるさと納税

■質問 鈴木清孝委員

本決算では8,020万9,000円であるが、前年よりも非常にアップしている。要因、また返礼品の見直しをどのように図ったのか。

▲三浦税務会計課長

リンゴの生果を出している業者がいつもは12月からの返礼品の発送だったが、11月の末から出荷できるように協力していただいた。また、業者はリンゴを扱う業者が3社、林寿工藝舎が増えて4社、結果的に2社増えたことが挙げられる。

◎ふるさとセンター

■質問 鈴木清孝委員

青柳館の入浴料は前年度は476万円だったものが令和2年度は2,021万円となりの利用者数が入っているが、風呂の脱衣所を広くできないか。

▲八木橋ふるさとセンター所長

現在、業者と話をしながら柵の移動を積算していただいている。

◎ゆるキャラについて

■質問 長内良蔵委員

りんごのゆるキャラグッズ製作委託料では何を

作ったのか。

▲山口企画財政課長

ぬいぐるみ、小さめのサイズのぬいぐるみを80個、あぶりんが刺しゅうされたハンカチを300個、タオル、コットンバッグを作成した。これらは子ども関係の事業などで配布させていただいている。

◎新婚生活家賃補助金と若者夫婦定住応援事業費補助金

■質問 長内良蔵委員

内訳を伺う。

▲山口企画財政課長

令和2年度の新婚生活家賃補助金は、交付件数が実世帯数で5件、月ごとに分けての申請であり、申請件数として11件、転入者人数として5名、板柳町民として8名の方々に助成している。若者夫婦定住応援事業補助金は交付件数1件、転入者は2名である。

◎板柳町例規集について

■質問 今浩一委員

例規集追録データ更新委託料380万円は紙ベースのものか、デジタル化されたものか伺う。

▲大井総務課長

紙の例規集とホームページ、インターネットで見られる両方の委託料である。

国では、デジタル庁という新しい庁が誕生している。デジタル化に向けての町長の考えを伺う。

■質問 今浩一委員

こういったものはデータ化にしてやっていく方が職員にとっても仕事の量も減るのではないかと。また、経費の面でも、長い目で見ると、私は大変安くなると思われるので、これだけではいかなければいけないと考える。

▲成田町長

令和2年当時、町長から非常に性急に議会に経営支援金1億円に関して何とか出してくれないかとのことであった。しかし、りんごワークから議会に提出された経営状況を見ると、令和2年度の決算額に関しては、実質単年度で9,000万円の黒字である。今回の監査委員の所見を伺う。

◎りんごワーク研究所経営支援金

■質問 松森俊逸委員

昨年コロナの影響等によりりんごワークの経営の悪化ということで、町から1億円交付金をいただいた。これを受けて、課内、りんごワークの中で今いろいろ研究しながら、改善計画に取り組んでおるところであるので、どうかその辺ご推察いただき、ご理解いただきたい。

◎掛落林石野線歩道整備事業

■質問 成田陽光委員

地方道路整備事業費の立木補償費1,100万円は何か所か。また土地購入費110万円とセットか。

正であった。2年度の決算書を見ると、事業収入も減っているが、費用もそれ以上に減っている。相当な企業努力があつて改善されたと思う。ただ、経営安全比率が低いので、もう少し売上げが上がれば、信用できる企業になると思う。

■質問 鈴木清孝委員

いい意味でりんごワーク研究所の経営を改善してほしい。これは議員全員の思いである。町長一言、所感をお願いしたい。

▲成田町長

令和2年当時、町長から非常に性急に議会に経営支援金1億円に関して何とか出してくれないかとのことであった。しかし、りんごワークから議会に提出された経営状況を見ると、令和2年度の決算額に関しては、実質単年度で9,000万円の黒字である。今回の監査委員の所見を伺う。

▲對馬地域整備課長

セットである。場所は1か所で町道掛落林石野線の歩道整備事業、中学校のこころの箇所である。

■質問 成田陽光委員

土地購入の面積と立木補償について詳しく教えていただきたい。

▲對馬地域整備課長

土地購入費は、該当者が3名おり、合計657.19平米である。立木補償費は、東北地区用地対策連絡会が出している立木補償金標準算定書から導き出している。

■質問 濱名康治副委員長

過去の用地買収などで立木の補償というのは今までなかったと聞いたことがあるが、いつから立木の補償をするようになったのか。

▲村上副町長

立木補償というのは、私が役所に入った頃からあり、補償をしてきた。

◎板柳町主食用米作付農家緊急支援金

支援の内容について何う。

▲小枝産業振興課長

6年ぶりに米の概算金が下落したことにより、稲作農家の方の収入が減少した

ために、主食用米を作付した農家の皆様に支援するために実施した事業である。

内容としては、青天の霹靂を除く主食用米、作付面積943ヘクタールの作付面積に對しまして下落した単価、去年は1俵当たり800円下落したので、10アール当たり8,000円相当

▲對馬学務課長

が下落した計算となる。これに2分の1の補助率を掛け、10アール当たり4,000円を補助した。申請者は464名である。

◎小中学校の除雪

委託内容について何う。

▲對馬学務課長

建設業組合から1時間当たりの見積りを徴収して、安いというのでお願いしている。早朝6時までには除雪が終わる必要がある、組合員の各建設業者は機械を持っていて、早期に除雪のほうも終われると。基準としては、10センチ以上降って、これ以上降るようであれば除雪のほうをしていただく内容で契約している。

■質問 濱名康治副委員長

機械がない業者でもレンタルから借りてきてやろう

と思えばできる。現に機械もタンクもない会社であっても、解体工事でも下水道工事でも入札に入っている。どうしてこの金額で特定の団体に委託なのか。

▲對馬学務課長

当初の目的としては、個々にお願ひするよりも一つの団体にお願ひしたほうがスムーズにいくのではないかとということで、お願ひしたわけだが、今後いろいろな方法を検討してみたいと思う。

◎農業委員会農地利用最適化推進委員報酬

■質問 松森俊逸委員

これは本格的に年度当初から運用された初めての決算だと思うが、効果のほどというのは大体どのように把握しているか。

▲小野農業委員会会長

最適化推進委員は、耕作放棄地解消等の仕事である。私の認識としては、より右肩上がりに耕作放棄地の解消がなされていると認識している。

◎地域包括ケア病床

■質問 佐藤文俊委員

板柳中央病院経営改善計画の中の地域包括ケア病床

の効果を得よう。

▲楠美中央病院事務長

在宅復帰の支援強化のため、平成30年4月より地域包括ケア病床をそれまでの5床から15床へ増やしている。増やしたことにより入院収益も同額になっており、それを精査したところ、本支援施策強化に伴い増員した社会福祉士、それから理学療法士、作業療法士の人件費相当分となっていた。また、この支援策により、地域連携室における退院調整、相談など、そして機能訓練室におけるリハビリの利用増加につながっていることから、今後も患者、その家族の方へ充実した医療サービスの提供の継続に努めてまいりたい。

◎エアコンの設置について

■質問 今浩一委員

中学校建設時は、学校にはエアコンはつけられないという話であったが、有利な補助金、予算措置もあるというところで、中学校にエアコンがつくことになった。小学校へのエアコン設置についてはどのように考えているのか。

▲成田町長

小学校の統合のアンケート

ト調査の中には、やはりエアコンの設置、スクールバスの運行が結構出ている。十分その辺は理解しているが、今統合小学校をご承知のとおり進めていますので、全体的に考えていきたい。

◎新消防庁舎

■質問 松森俊逸委員

建設工事費の予算額4億4,000万円に対して、支出3億8,800万円、不用額5,200万円。この不用額の要因は。

▲大井総務課長

入札減で、業者の企業努力で入札価格を決定いたしましたので、それが要因だと考えている。

いたやなぎ町議会だより「夢追人」を募集しています!

内容:表紙写真の掲載
(町内在住、男女年齢・個人団体問わず。大人の方でも大歓迎!!)
募集期間:随時募集
選考方法:議会だより編集特別委員会で審査を行い、選出します。
問合せ:板柳町議会事務局

一目で分かる審議結果

○全会一致の議案

◆第7回定例会

議案番号	議案	結果
同意第2号	板柳町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	全員同意
議案第12号	板柳町個人情報保護条例の一部改正について	全員可決
議案第13号	板柳町道路構造の技術的基準等に関する条例の一部改正について	全員可決
議案第14号	令和3年度板柳町一般会計補正予算(第3号)	全員可決
議案第15号	令和3年度板柳町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	全員可決
議案第16号	令和3年度板柳町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	全員可決
議案第17号	令和3年度板柳町介護保険特別会計補正予算(第1号)	全員可決
議案第18号	令和3年度板柳町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	全員可決
議案第19号	令和3年度板柳町水道事業会計補正予算(第1号)	全員可決
議案第20号	令和3年度板柳町公共下水道事業会計補正予算(第1号)	全員可決
認定第1～8号	令和2年度各会計決算の認定	全員認定
報告第3号	令和2年度板柳町一般会計継続費精算報告書について	報告のみ
報告第4号	令和2年度板柳町健全化判断比率の報告について	報告のみ
報告第5号	令和2年度板柳町資金不足比率の報告について	報告のみ
報告第6号	一般財団法人板柳町産業振興公社りんごワーク研究所経営状況の報告について	報告のみ
議員発議第9号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の充実を求める決議について	全員可決
議員発議第10号	米価下落に対する緊急対策の実施を求める決議について	全員可決

議会の動き(7月～9月)

開催日	会議等名	開催日	会議等名
7月	2日 板柳町議会第9回臨時会	9月	2日 議員全員協議会(開会前、散会后)計2回
	6日 小学校統合問題検討特別委員会		" 本会議(定例会日程、町長の提案理由等)
	7日 町例月出納検査(監査)		6日 本会議(一般質問・5名)
	9日 議会だより編集特別委員会		7日 各常任委員会
	13日 弘前地区消防事務組合議会臨時会		8日 決算特別委員会
	" 弘前地区環境整備事務組合議会臨時会		9日 決算特別委員会
	14日 議員全員協議会		10日 議員全員協議会(開会前)
	20日 小学校統合問題検討特別委員会		" 本会議(委員長報告、採決、閉会)
	" 議員全員協議会		14日 町例月出納検査(監査)
	27日 タブレット視察研修会(中泊町)		
	" 議会運営委員会		
	28日 議会だより編集特別委員会		
	8月		3日 西北津軽郡町議会議長会協議会
" 議会だより編集特別委員会			
4日 青森県町村議会議長会正副会長会議			
5日 小学校統合問題に関する勉強会(鶴田町)			
11日 町例月出納検査(監査)			
23日 議案説明会			
24日 議員近隣自治体視察研修(つがる市、鱈ヶ沢町)			
" 西北五広域福祉事務組合定例会			
25日 国民健康保険運営協議会			
27日 議会運営委員会(定例会案件)			
30日 議員全員協議会			
" 板柳町交通安全対策協議会			

※定例会及び臨時会については、広報いたやなぎにも掲載されています。



読みとりは
コチラ



小学校統合問題検討特別委員会活動報告

第7回定例会で今浩一委員長が報告した内容です。(一部抜粋)

第8回(令和3年7月6日)

教育委員会が行った「アンケート等調査報告」について、教育長及び学務課長より説明を受け、意見交換を行いました。

第9回(令和3年7月20日)

既存校舎等の利用計画について、教育長・学務課長および総務課長・企画財政課長を交えて、町の考えを伺いました。現在、役場職員「係長クラス」を中心に編成した部署で、利用方法を検討中との事でした。

第10回(令和3年8月5日)

鶴田町視察勉強会を実施しました。これは当委員会が行った各小学校学区ごと意見交換の場で、町民の方から「近隣自治体で、すでに小学校統廃合を行っている鶴田町等と意見交換等を行い、参考にしてみてもは。」という声が複数あったことから、実施したものです。鶴田町からは、北谷議長・長内副議長をはじめ、太田教育民生常任委員長・蒔苗副委員長・山本教育長・八木橋教育次長・一戸学務総務班長・中野総務課長・福土議会事務局長の出席を頂き、当委員会からの5項目の質問事項について、担当者より詳しく説明を頂いた後、意見交換の場を設け、最後に鶴田小学校「新校舎」を見学しました。

※5つの質問事項①小学校を1校とし統合した経緯について②統合による小・中連携教育について③通学バスの運用について④既存校舎の利活用について⑤統廃合に関し議会としての動きについて

※活動報告の詳しい内容について

読みとりは
コチラ



議会運営委員会要望意見

当委員会では、議会改革を推し進め、より開かれた議会を目指す為に、様々な協議・検討を行っているところです。

現在、デジタル化に向け全国の議会においても、「タブレット端末」を導入する事で、効率的な議会運営がされているところです。当委員会としても、視察・調査を行い、「タブレット端末」の必要性について議論してきました。

その結果、議会において「タブレット端末」を導入する事により、作業効率の向上や経費の削減が期待できる事がわかりました。特に、ペーパーレス化により印刷作業や製本作業、議案書の配布作業の省略による人件費の削減は大幅に期待ができます。

そこで、板柳町議会として、令和4年度より「タブレット端末」を導入して頂きますよう、ここに要望いたします。加えて、議会改革の一環とし経費削減効果をはじめ、作業効率の向上を目指す上で、町執行部においても同様に導入する事を提案いたします。

米価下落に対する緊急対策の実施を求める決議

(議員発議第10号)

9月10日定例会最終日に議員全員で可決し、町へ提出した内容です。

米価下落に対する緊急対策の実施を求める決議

全農青森県本部が8日に示した2021年産米の生産者概算金の目安額(60キロ、1等米)が、「まっしぐら」で8,000円、「つがるロマン」で8,200円と、昨年よりともに3,400円下回る、過去最大の下げ幅であった。この金額は、過去最低額の2014年産に次ぐ低い額となった。

「青天の霹靂」も昨年を500円下回る15,100円だという情報もあり、デビュー以来初の引き下げとなる。

新型コロナウイルス感染症の影響は多方面に及んでいるが、米についても販売が低迷しており、大きな影響を受ける結果となった。

この大幅な減額は、稲作農家にとっては死活問題であり、このままでは生活ができないほどの減収となる。また、離農者が増え、ひいては耕作放棄地が増加する懸念もある。

については、農家の経営を守る観点から、全稲作農家を対象とした米価下落に対する緊急対策を早急に実施することを、町から関係機関に対し要望していただきたい。

視察・研修レポート

議会運営委員会 タブレット視察研修会



令和3年7月27日(火)
中泊町役場・中泊町議会
参加者:今浩一委員長、鈴木清孝副委員長、成田陽光委員、
濱名康治委員、佐藤洋治議長、三戸玲子副議長

小学校統合問題検討特別委員会 小学校統合問題に関する勉強会



令和3年8月5日(木)
鶴田町役場、鶴田町議会、町立鶴田小学校
参加者:今浩一委員長、松森俊逸副委員長、三戸玲子委員、
佐藤洋治委員、成田陽光委員、鈴木清孝委員、濱名康治委員

議員近隣自治体視察研修



令和3年8月24日(火)
鱒ヶ沢役場、津軽港、つがる地球村、つがる市縄文住居
展示資料館カルコ、亀ヶ岡石器時代遺跡
参加者:佐藤洋治議長、長内良蔵議員、葛西幸男議員、
成田陽光議員、佐藤文俊議員

青森県町村議会議長会 青森県知事へ米価下落に係る 緊急要望書の提出

令和3年10月7日(木) 青森県庁において、
佐藤洋治議長は青森県町村議会議長会会長として
三村知事に対し要望書を提出しました。



編集後記

めつきり寒くなった今日この頃です。おそらく農家の方々はリンゴもぎが終わっていることと思います。今年の10月中旬は雨が毎日のように降りました。しかし、台風が来なくて良かったと思います。

これから冬になります。農家の方々はお身体に十分に気をつけてお過ごしください。

(委員 葛西 幸男)

【発行責任者】

議長 佐藤 洋治



※第32号発行予定は2月10日頃です。
議会だよりへのご意見・ご感想をお聞かせください。